

(令和6年度)
自己評価書

園番号	園名
607	奈良市立大安寺幼稚園

607奈良市立大安寺幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育・保育活動に関するもの	(1) 教育・保育目標/計画	① 教育・保育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 園児の実態を把握し、職員が共通理解しながら教育目標を設定する。 幼稚園教育要領、奈良市こども園カリキュラムに基づく教育課程を編成する。特色ある園づくりを目指す。 保護者、学校評議員アンケートを作成し保護者の満足度や意見などから教育活動を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標や教育ビジョンについて、職員間で共通理解した。その都度保育を振り返り、話し合う機会をもつことで達成に向けて同じ方向性で保育をすることができた。 保護者や学校評議員の方に、園での取組を知らせる機会をもった。特に保護者には伝え方を職員間で考え周知することを意識したことで、アンケートで肯定的な意見をいただくことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標や教育ビジョンの達成に向けて、その都度話し合う機会を積極的にもち、職員間でしっかりと共通理解しながら取り組むことができた。 保護者や学校評議員の方に、園での取組を写真や参観等具体的に知らせることにしたことで、アンケートで肯定的な意見をいただくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 園児や地域の実態を把握し、教育計画・教育課程を作成したり内容を検討したりしていく。 保護者や学校評議員の方にいただいた意見を、次年度の計画に生かし、意義のある活動となるように努める。 引き続き周知方法の工夫に努めて
		② 教育・保育計画の作成					
		③ 教育課程/全体的な計画の編成					
		④ 教育・保育活動の評価					
	(2) 教育・保育内容/指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領、奈良市立こども園カリキュラムの内容に沿い、幼児の実態と発達に即した指導計画を立案する。 ひと・もの・こととの関わりの中で、心豊かにいきいきと活動する幼児の育成を目指し、環境構成や援助について話し合い、保育内容を精選する。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究主題を設定し、幼児理解や保育内容について園内研修会を実施した。 様々な園内研修を実施し、保育の振り返りをしながら職員間で幼児の実態や環境構成、援助について話し合い、工夫や改善方法などの意見を出し合うことができた。 初めての複式学級であったが、それぞれの年齢の発達段階を考慮しながら保育内容について、都度職員間で話し合い、進めることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修や園内公開保育をすることで、自身の保育を振り返る機会となり、課題を明確化することができた。 初めての複式学級だったことで、例年通りではなく、新たに環境や援助等を考える機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々子どもや保育について職員間で話ができるような雰囲気づくりを心がけ、意見を出し合えるように努めていきたい。 保育内容についてPDCAサイクルの実施に努め、保育内容や指導方法の工夫改善に努めていきたい。
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
		④ 評価					
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画を見直し、毎月立案・実施・評価・検討を行い、職員間で話し合う。 その都度、職員間や地域の方と話し合い、内容や方法の見直しを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の評価反省をふまえ、職員間で行事について話し合い、見直し改善を行った。また、行事が終わると反省評価を行い、次年度へとつなぐことができた。 昨年度の反省評価をもとに、よりいききた交流経験となるように地域の方や小学校と、その都度内容や方法について話し合いを密にし、実施することができた。また、評価についても自園だけでな 	A	<ul style="list-style-type: none"> 内容や方法について、実施前後に職員間で話し合い、子ども達にとっていききた経験となるように努めた。 保護者アンケートでも、園生活を楽しんでいるという肯定的な意見をいただくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度は5歳児のみの極少数人数になるため、今年度の評価課題をふまえながら、子ども達にとってより充実した活動となるように厳選や内容の工夫をしていきたい。 今年度以上に交流経験を増やし、計画実施していきたい。
		② 行事内容の精選					
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の良さや違いに気づき、認め合える仲間づくりを目指して職員間で共通理解し、取り組む。 幼児理解に努め、指導内容を工夫し、全職員が人権意識を高めるとともに、研修会での学びを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で子どもの姿を見取り話し合いを重ねてきたことで、同じ方向性をもって援助や環境構成をすることができた。そのことで、相手の存在や思いにも気づいたり、友達の良さを認め合えるような仲間づくりができるようになった。 今年度は外国籍の子もおり、職員も日本以外の国について情報を集め保育に取り入れて行くことで、様々な国に興味をもつと共に仲間意識が高まった。 不適切保育についての研修に積極的に参加し、職員間で学びを共有した。そのことで、職員一人一人の意識が高まった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の違いや良さに気付けるように、職員間で話し合いを重ね、援助や環境構成してきた。また、個々の思いを受け止め、安心して園生活を送れるように努めてきた。 研修に積極的に参加し、職員の意識を高められるように努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で話し合い、見えてきた援助や環境構成を、次年度もしっかりと行うとともに、保育の振り返りや子どもの見取りについて、意見を出し合い、同じ方向性で取り組めるようにしていきたい。 異文化共生保育について園内研修をしていきたい。
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 職員で話し合い、共通理解のもとで適切な指導を行う。 家庭や関係機関との連携を図り、情報収集に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 気になる幼児について職員間で情報共有し、全職員で支援できるように体制を整えた。 教育支援員や家庭との連携を図り、全職員の共通理解のもと、保護者の相談に即時対応を心がけた。 専門機関や小学校との連携に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 些細なことでも職員間で話し合う機会をもち、支援方法について共通理解するように努めた。 保護者と話し合う機会を積極的にもち、専門機関や小学校と連携を密にしてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も幼児理解と情報収集に努め、全職員で連携を強化し、実態把握と適切な指導の改善に努めたい。 保護者が相談しやすい関係を築いていきたい。 小学校と都度情報交換し合えるよう今後も連携を密にしていきたい。
		② 教育相談・幼児理解					
		③ 家庭との連携					
		④ 関係諸機関との連携					
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	<ul style="list-style-type: none"> 対処方針や指導計画が明確である 日頃より実態把握・早期発見に努めている 各学級の状況を園組織として共有できている 保護者や地域と連携できている 組織的に迅速に対応する体制が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> クラスであった些細な事でも、必ず報告し合い、全職員間で実態や課題、対策を共有するように心がけた。 大安寺地区自治連合会の会議で、地域の方々に園の様子を知らせたり見守りのお願いを伝えたりしている。また、近隣の園、小学校と情報交換を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 報・連・相を怠らず、全体で話し合う機会を取ってきた。 実態や問題を家庭や小学校、専門機関と共有するように努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期対応に向けて、些細なことでも見逃さず、迅速に対応できるように体制を整えていきたい。 些細なことでも話ができるような職員の関係体制を築いていきたい。 園内外での研修などで、職員の見じめを見抜く感性を磨いていけるようにしたい。
				A			
			A				
(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が、一丸となって、保護者との信頼関係を築き、常に保護者と様子を伝え合い連携する。 各機関の相談員から助言を受けながら、一人一人を大切に指導方法を考える。 関係機関と綿密な連携をとり、クラスでの効果的な支援を探る。 	<ul style="list-style-type: none"> その子の実態や支援について、定期的に職員間で話し合い、全職員が同じ方向性をもって支援できるように努めた。 保護者と積極的に話をする機会をもち、保護者の思いを十分に受け止め、一緒に支援の仕方を共有した。また、必要に応じて小学校と情報交換をし、保護者が就学に向けて安心できるように努めた。 相談員や特別支援COに来ていただき、支援のあり方について学ぶことができた。また、研修に参加し、自分の保育や支援の振り返り、新たな方法を学ぶ機会となった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個々の実態を共有し、支援について職員間で話し合いながら、全職員で進めることができた。 保護者と相談員、特別支援CO、担任、園長と話し合う機会を設けてきたことで、目標や関わり方が共通のものとなった。 園が支援を必要と思う子どもの保護者、小学校と連携を密にし、安心して就学できるようにつなげていっ 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性を理解するとともに、職員間で個々に合った支援ができるように積極的に研修に参加する等し、学びを深めていきたい。 職員間で支援について話し合う機会を積極的につくり、全職員が同じ方向性で支援していけるようにしていきたい。 園が支援を必要と思う子どもの保護者、小学校と連携を密にし、保護者が安心して就学できるように努めてい 	
	② 個々に応じた特別支援教育の内容						
	③ 指導方法の工夫改善						
	④ 家庭との連携						
	⑤ 関係機関との連携						

(令和6年度)
自己評価書

園番号	園名
607	奈良市立大安寺幼稚園

607奈良市立大安寺幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念や園経営についての考えを明確にし、職員間で共通理解する。 ・職員の適性配置とそれぞれがもつ発想を柔軟に受け止め、前向きな姿勢が持続できるようにする。 ・効率よく担当の公務分掌を行う。 ・定期的に職員会議や研修を実施し、情報共有や課題検討を行い、円滑な園運営を行う。 ・全職員が、協力・協同体制で働ける関係をつくり、悩みや思いを出し合える雰囲気づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育ビジョンを作成し、園の基本の柱について共通理解した。 ・目標達成に向けて、個々の考えや発想を受け止め意欲を高めるとともに、職員それぞれの得意分野や専門性を発揮できるように配置を行った。 ・職員間で話し合う時間を定期的に計画したことで、問題解決や情報共有をすることができた。 ・職員一人一人の考え方や違いを受け止めながら、それぞれの資質を発揮できるように努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな考え方があることを受け止めながら、目標達成に向けて、同じ方向性で取り組んでいけるように、配置やパイプ役に努めた。 ・時間を見つけて、職員間で話し合う体制をとってきたことで、気づきや思いを出し合う機会をもてた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の園運営への参画意識の向上に努めていきたい。 ・一人一人が報・連・相を心がけ、常に全職員が情報共有、同じ方向性で保育ができるように日々話しやすい雰囲気づくりに努めていきたい。 ・効率のいい職員会議の計画、実施に努めていきたい。
		② 園経営目標・方針			A		
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識			A		
		④ 園務分掌等の連携			A		
		⑤ 会議の運営と位置づけ			A		
		⑥ 会議の結果			A		
		⑦ 職場の人間関係			B		
		⑧ 園評価の実施			A		
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 園外の研修への積極的な参加や園内研修会の計画・実施により、職員の資質向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画で一人2回の公開保育に参加できるように、職員体制を整えた。また、園内研修も、定期的に計画・実施し、保育の振り返りや子どもの見取りなど、職員間で気づきや思いを出し合い、資質向上に努めた。 ・様々な園外研修に、積極的に参加できるように体制を整え、学びを共有することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公開保育に参加できるようにしたことで、すぐに保育にいかせるような学びがあり、保育の意欲につながった。 ・研修参加後、職員間で話し合うことで学びが具体化され、資質向上につながった。 ・リモート研修では、全職員で参加することができ、すぐに学びを共有することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数が少ないので、年度初めに年間で研修計画を立て、計画的に実施参加できるように努めていきたい。 ・職員間で、研修内容を共有する機会を設け、学びを深めていきたい。 ・今年度の研究成果をまとめ、次年度にいかしていきたい。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施			A		
③ 園外の研修への積極的参加		A					
④ 園外研修内容の共有		A					
⑤ 研修成果の普及		A					
(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理マニュアルの再構成を行う。 ・定期的に遊具等の安全点検を行う。 ・避難訓練や防犯・防災訓練を適切に実施する。 ・保護者にも園の取組周知や避難訓練への参加に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に職員間でマニュアルを確認し合い、実施に努めた。 ・安全点検を定期的に行い、気付いたことを職員間で共有した。また、早期対応にも努めた。 ・月1回の避難訓練や防犯訓練を計画実施し、危機管理の意識を高めることができた。 ・避難訓練の参観と引き渡し訓練への参加を実施し、保護者の危機管理意識を高めるとともに、園の取組を周知することができ、家庭との連携を図ることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や防犯訓練について、園の実態を踏まえ職員間で話し合い計画したことで、具体的な対策が見え、職員間の危機管理意識が高まった。 ・日々の安全点検を意識し、必要に応じて早期に対応するように心がけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が少ないため、あらゆる場面を想定し、臨機応変に対応できるように、普段から職員間で意識し合い、共通理解するように努めていきたい。 ・職員一人一人が日々安全点検を心がけ未然に防止できるように声を掛け合っていくたい。 ・来年度も保護者への啓発に努め、意識を高めてもらえるようにしていきたい。 	
	② 防災計画の立案			A			
	③ 危機管理体制の整備			A			
	④ 安全指導の工夫改善			B			
	⑤ 家庭との連携			A			
	⑥ 関係機関との連携			B			
(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康観察に努める。 ・保育総務課発行の食育だよりを配信する。 ・全職員で、食物アレルギー児の対応についての情報を共有し、共通理解を徹底する。 ・熱中症指数による活動内容や冷暖房の使用の仕方、換気等を考慮し、熱中症対策に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県感染症情報や近隣学校園の情報収集と共有に努め、全職員で子どもの健康観察を行った。 ・食物アレルギー児の保護者に確認を徹底するとともに、誤食がないように、職員間の共通理解を徹底した。 ・薬剤師の方の指導助言を職員間で周知し、実施に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の健康観察や手洗い・うがいの推奨等、全職員が意識して実施できるように努めた。 ・職員の熱中症対策への意識を高め、防止に努めた。 ・食物アレルギー児への対応を、全職員が危機管理意識を持てるように心がけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面や園児の健康管理において、職員の意識や知識を高められるようにしていきたい。 ・アレルギーについて、全職員が危機管理をもち、適切に対応できるように共通理解を徹底していきたい。 	
	② 心のケアや健康相談の体制の整備			A			
	③ 健康観察、健康管理能力の育成			A			
	④ 関係機関との連携			A			
	⑤ 昼食の衛生管理			A			
	⑥ 関係機関との連携			A			
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページなどで、園の取組や子ども達の様子を発信し、関心をもってもらえるようにする。 春日中学校区の小学校や園の教職員同士の連携を密にする。 ・地域教育協議会や自治連合会の会議、地域関連事業へ積極的に参加する。 ・学校評議員会開催を位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや掲示板で園の取組や子ども達の様子等を知らせ、幼児教育理解に努めた。 ・春日中学校区の小学校や園と積極的に情報交換を行い、連携に努めた。 ・地域の会議や行事等に積極的に参加し、園の取組や実態等を知らせたり協力をお願いしたりして、連携に努めた。 ・大安寺小学校の校長先生や評議員の方に、実際の子どもの遊びや活動を観ていただき、園の取組を知っていただくことで貴重な意見をいただくことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の取組を知らせてきたことで、保護者や地域の方の理解や協力を得ることができた。 ・地域の方と触れ合う行事を実施できたり、評議員の方や校長先生に子ども達の様子を観ていただくことができ、園の取組を知っていただくことができた。 ・小学1年生との交流会を実施することができた。また、1年生の担任の先生とも情報交換することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の取組や子ども達の様子を、地域や保護者に知っていただけるように、啓発方法を考え、積極的に取り組んでいきたい。 ・今年度の取組の成果を踏まえ、来年度も交流できる場を計画実施していきたい。 ・春日中学校区の学校園との情報交換を、引き続きしていきたい。 	
	② 園(保育)公開			B			
	③ 小学校との接続・連携			A			
	④ こ幼保との連携			A			
	⑤ P T A ・保護者会の活性化			A			
	⑥ 地域教育協議会との連携			A			
	⑦ 学校関係者評価の実施			A			
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境の充実に向けた整備や設備を行う。 ・安全点検を行い、危険箇所や補修個所の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が安心して活動できるための環境構成を心がけた。 ・職員間で意識して点検を行い、気づいたことを報告し合い、早急に対応するように努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で意識して、安全点検や補修個所の把握を行ったことで、早急に対応することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員一人一人が点検、報告し合えるように意識づけをし、早急に対応できるようにしていきたい。 	
	② 施設設備の有効利用			A			
	③ 施設設備の管理			A			
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いに留意し、データの管理・保護に努める。 ・公文書作成、保管において適切に処理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員の意識を高め、適切に扱えるように共通理解を図った。 ・情報セキュリティの研修に参加し、職員間の危機管理意識を高めることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保管場所を決め、声を掛け合い、職員間で管理の徹底を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報管理の重要性を認識できるように職員間で声を掛け合い、管理の徹底を継続していきたい。 	
	② 公文書の作成			A			
	③ 個人情報の管理・保護			A			
	④ 情報の収集			A			
	⑤ 電子媒体の管理			A			